

令和 6 年度 部局長の実行宣言  
(令和 5 年度評価一覧)



### 令和5年度 各部署の評価(☆の数)一覧

評価	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆☆	☆
秘書広報局		2			
防災対策課			1		
企画振興部	1	2	4		
総務部		1	3	1	
環境生活部		1	4	1	
健康福祉部		3	4		
産業文化部	2	2	7	1	
建設部		1	3	1	
消防団事務局			1		
市民病院事務局		1			
会計管理課		1			
教育委員会事務局		1	3		
上下水道部			3		
議会事務局		1			
農業委員会事務局			1		
監査委員事務局			1		
選挙管理委員会事務局			1		
合計	3	16	36	4	0

分類	評価の目安
☆☆☆☆	目標を遥かに上回る
☆☆☆	目標を大きく上回る
☆☆	おおむね目標どおり
☆☆	目標にやや及ばない
☆	目標を大きく下回る
-	評価対象外(未実施等により評価できない場合に使用)

### 令和4年度の各部署の評価一覧

評価	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆☆	☆
秘書広報局			2	1	
防災対策課				1	
企画振興部		4	3		
総務部		1	4		
環境生活部	1	1	1	2	1
健康福祉部		3	7	2	
産業文化部	1	2	6	3	
建設部			5		
消防団事務局				1	
市民病院事務局	1				1
会計管理課				1	
教育委員会事務局		2	2		
上下水道部			2	2	
議会事務局		1			
農業委員会事務局					1
監査委員事務局			1		
選挙管理委員会事務局		1			
合計	3	15	33	13	3

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
秘書広報局	7. 市民のための市役所 サービスの充実 ①行政	秘書広報局長	☆☆☆☆	<p>二役部長会議では、年間を通じて横断的・効率的な会議の運用を行うことができました。また、二役のスケジュール管理では、効率的な運用を行うことで、各種団体や部局等の依頼に対応しました。</p> <p>危機管理事案の対応に関しては、情報の一元管理による二役への報告体制を構築し、市民等への影響の拡大防止を重点に早期に事態収束に向けた対応を行いました。</p>
秘書広報局	7. 市民のための市役所 との情報共有 ④市民	秘書広報局長	☆☆☆☆	<p>令和5年10月から2か月間「松阪ナビ」ダウンロードキャンペーンを実施した結果、前年度比5千件以上のダウンロードをいただき、総ダウンロード数は3万件を超えました。</p>
防災対策課	5. 安全・安心な生活 ③防災・危機管理対策の充実	防災対策担当参事	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の被害を最小限に収めることを目的に、地域の防災会議や防災訓練、学校への防災教育へ職員の派遣を116回行い、継続的な防災啓発活動を実施することにより、市民の防災意識の向上と自助・共助による初動体制の強化を図りました。</li> <li>・行政の災害対応に向けた取組（BCP）における課題をシートに明確化し、その進捗管理を行うためにBCM会議を開催しました。これについては単年度で終わるものではなく、この構築したマネジメントの形を今後も維持、継続して取り組みます。</li> <li>・実災害発生時の初動対応力を得るため、大地震を想定し市内全域における一斉夜間訓練を実施しました。住民自治協議会役員を中心とした避難所の開設訓練や照明器具の取扱い訓練のほか、市の防災備蓄品の保管状況を確認をすることにより、地域の災害対応スキルの向上と防災意識の向上を図ることができました。また、関係機関と夜間救護救出訓練や情報伝達訓練に取り組み、市と関係機関との連携強化により、市の防災力の向上を図ることができました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
企画振興部	7. 市民のための市役所 サービスの充実 ①行政	企画振興部長	☆☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン申請総合窓口「ちゃちゃっと手続き」の申請可能な手続きを151（前年93）に拡大するとともに、住民票や税証明書の郵送発行や公共施設利用料の支払いにクレジットカード決済を導入することで、市民の便利性を向上させました。また、「遠隔窓口システム」の利用拡大について検討を行い、地域振興局の税務業務と職員配置の見直しに繋がりました。</li> <li>・次期総合計画に向けた課題等の抽出のため市民意識調査を実施するとともに、外部有識者からなる総合計画等評価委員会を2度開催し、令和2年度から4年度の間報告をまとめ、次期総合計画策定に向けた準備を整えました。</li> <li>・生成AIを試験導入し効果や安全性等の検証を行い、ガイドラインを定めた上で令和6年4月より業務上での使用をスタートしました。</li> </ul>
企画振興部	7. 行政サービスの充実 ②確かな行政サービスの提供	企画振興部長	☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内ネットワーク基盤及び各種システムを、トラブルや事故なく安定的に管理運営し、住民サービス提供を途切れることなく行うことができました。また、新たな市内ネットワークへの切替作業もトラブルなく完了することができました。</li> </ul>
企画振興部	7. 行政サービスの充実 ③公民連携の推進	企画振興部長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共創デスクを通じて民間事業者から26の提案を受け付け、関係部局に展開することで、14の提案を公民連携の具体的な取組に結びつけることができました。</li> <li>・コミュニティファンドに関し、アンケート調査などを実施するとともに、市民活動団体、企業、金融機関などで構成する研究会を立ち上げ検討を行いました。重要な視点や基本的な考え方等については議論を深めることができましたが、具体的なスキームなどを取りまとめるまでには至りませんでした。</li> </ul>
企画振興部	7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営	企画振興部長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画や予算編成時におけるヒアリングを通じて各施設の在り方について検討するとともに、公共施設を所管する関係部局等と横断的な協議を行い、ライフサイクルコストの削減に取り組みました。その結果として、集会所の無償譲渡、市営住宅の解体などにより約3.9億円のライフサイクルコストを削減しました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
企画振興部	4. 人も地域も頑張る力 ①市民活動の推進	地域振興担当理事	☆☆☆	<p>令和5年11月に指定管理者制度を活用したコミュニティセンターについて住民自治協議会会長会と住民自治協議会事務職員及び公民館職員を対象に説明会を開催しました。また、個別に依頼のあった12協議会でも説明会を実施しました。</p> <p>モデル地区の検証においては、コミュニティセンターモデル地区実施検証検討会を有識者を含む5人で構成し、3回開催し、検証の視点として「適切な管理運営の確認」、「市民サービスの向上につなげ利用者拡大をめざすこと」「制度運用上の課題の抽出」について検証を行い制度の構築を進めています。</p> <p>令和5年度に松尾住民自治協議会と米ノ庄住民自治協議会を松尾地区コミュニティセンター、米ノ庄地区コミュニティセンターの指定管理者として指定をしました。</p>
企画振興部	4. 人も地域も頑張る力 ②中山間地域の振興	地域振興担当理事	☆☆☆☆	<p>「特定地域づくり事業協同組合」の設立について、令和5年度に関係団体との協議や事業所説明会などを行って制度設計を協議し、3月18日、発起人6社と賛同者8社の計14社により協同組合創立総会が開催され、「松阪市香肌地域づくり協同組合」を創立しました。</p> <p>第1回香肌峡トレイルランニング大会を住民自治協議会や地域団体、ボランティアにより参加者222人で開催し地域の活性化に取り組みました。</p>
企画振興部	7. 市民のための市役所サービスの充実 ①行政	地域振興担当理事	☆☆☆	<p>住民福祉の向上のため、三雲地域振興局と飯南地域振興局に「福祉まるごと相談室」を設置しました。また、各振興局の税務業務を本庁税務部門に集約しました。</p> <p>出張所については、飯南・飯高・嬉野管内の一部を廃止し、川俣・波瀬・中郷の各郵便局で住民票などの証明書の発行や行政手続きの取扱いを委託しました。</p>
総務部	7. 市民のための市役所サービスの充実 ①行政	総務部長	☆☆☆	<p>照明器具のLED化、安全・安心カメラの増設、太陽光パネル及び蓄電池設備を設置し、災害時に省電力で業務を効率的行うとともに、「松阪市ゼロカーボンシティ宣言」に基づく取組を進めました。</p>
総務部	7. 市民のための市役所サービスの提供 ②確かな行政サービスの提供	総務部長	☆☆☆	<p>障がい者雇用率は2.74%(前年度2.60%)で、昨年度に引き続き法定雇用率を達成できました。採用面では、新たに課題発見型インターンシップ制度を導入し、会計年度任用職員としての任用により公務員の魅力向上に努めました。</p>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
総務部	7. 市民のための市役所 ④市民との情報共有	総務部長	☆☆☆	審議会などの会議の公開率90.1%、公文書公開412件、個人情報公開28件の請求があり、制度の基本原則に則って公開しました。また、個人情報保護・情報公開に関する研修会を実施し、職員の制度に対する理解を深めました。なお、情報提供範囲の拡大については、引き続きその手法等の検討を行いました。
総務部	7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営	総務部長	☆☆☆☆	【歳入】 予算収支の均衡を図る中、財政調整基金繰入金を可能な限り抑制しました。また市債については、市債残高の動向を踏まえつつ、発行可能残高及び発行期限の迫った合併特例事業債を有効に活用しました。 【歳出】 計15回の補正予算を編成し、ポストコロナにおける社会経済情勢の変化に迅速に対応しました。予算規模は拡大したものの、結果的に財政調整基金を取崩すことなく積み立てることができました。
総務部	7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営	税務担当理事	☆☆	変化する社会情勢に対応した適正な課税と1,000件を超える差押を行うなど、滞納者の状況の把握、配慮しながら徴収強化に努めました。 また、市民サービスの向上として、業務の集約化やオンライン申請等により、税務相談を含めた納税環境の整備による納税者の利便性向上、納税機会の拡大など市税等の財源確保に努めました。 一方、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も物価の高騰、円安による経済活動、市民生活への影響などから市税等現年度分収納率目標値に僅かに及ばない見込みです。
環境生活部	4. 人も地域も頑張る力 ⑥人権尊重・多様性社会の推進	環境生活部長	☆☆☆	「松阪市人権施策基本方針」の改定作業は令和5年度内に完了することができました。（令和6年度初めに公表予定）また、多様性社会づくりについては、啓発イベント等の啓発に対する取組を新たな実施方法の導入を含めコロナ禍以前の状況に回復することができました。
環境生活部	5. 安全・安心な生活 ①交通安全対策の充実	環境生活部長	☆☆☆	安全・安心フェスタまつさか、健康フェスティバル等や、各季（春・夏・秋・年末等）の交通安全運動期間において松阪多気地区交通安全対策会議と協力して交通ルールや交通マナーの向上を訴えた結果、令和5年の交通事故死者数は、前年より4人減の4人となり、人口10万人あたりの交通事故死者数のワースト順位が、4位から83位となり昭和47年の統計開始以来1番よい成績となりました。

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
環境生活部	5. 安全・安心な生活 ②防犯対策と消費者保護の充実	環境生活部長	☆☆	地域、警察等の関係機関との協働及び連携し防犯に対する様々な取組を実施しましたが、令和5年の刑法犯認知件数（前年の647件から826件）特殊詐欺等被害件数（前年の14件から32件）とも増加となりました。振り込め詐欺の手口の巧妙化など、新たな犯罪発生もあることから、継続して防犯の取組を進めていきます。
環境生活部	6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全	環境生活部長	☆☆☆	令和5年度において、PPA方式による公共施設への太陽光発電設備の導入を図るため準備を進めてきておりましたが、昨今の資機材価格や人件費の高騰、さらには急速な円安によってPPA環境は一変しており、PPA方式による公共施設への太陽光発電の導入事業は見合わせました。 LED化の推進については、35施設のLED化を完了し、切替が完了した施設では電気使用量の削減が図られておりLED化の効果が表れております。
環境生活部	7. 市民のための市役所 ①行政サービスの充実	環境生活部長	☆☆☆☆	出張申請回数は、令和4年度の88回に対して、令和5年度195回開催し、目標の150回を大きく上回りました。個別訪問、従来の出張申請に加え、はるるでの乳幼児の健康診断でも出張申請会を行うなどした結果、令和5年度末のマイナンバーカード交付率は80.60%に達しました。

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
環境生活部	6. 快適な生活 ②資源循環型社会の推進	清掃行政担当理事	☆☆☆	<p>家庭から出るごみを安全に処理するため、市民の皆様へ充電式小型家電等の出し方の周知啓発（資源物の日）により、クリーンセンターにおける火災検知件数は、88件と前年比34件の減少となり、不燃物等の適切な処理で施設の安全な維持管理が図られました。また、ごみを取り巻く社会情勢の変化（脱炭素化やSDGs等の取り組み等）や市民ニーズに対して、燃えるごみの祝日収集の追加等によるごみ収集体制の強化や、生ごみの堆肥化促進の新規事業を実施するなど、家庭系ごみの削減に取り組み、1人1日当たりのごみ排出量の目標値を達成しました。加えて市職員による不法投棄・ごみ集積所のパトロールにより、市民からの不法投棄や集積所からの持ち去りに対する苦情・相談件数が減少しました。食品ロス削減では食品事業所（市内7店舗）に、手前どり啓発ポップ700枚を掲出し、消費期限切れ等の廃棄食材の削減に努め、また児童向け啓発冊子で食品ロス削減に関する追記で児童への食の大切さを啓発教育し、松阪市ゼロカーボンビジョンやSDGs（持続可能な開発目標 12「つくる責任つかう責任」）等を意識した新たな取組を実施することができました。</p> <p>リサイクルセンターについては、長寿命化計画のなかで「更新」等をしていく方針で、維持管理費等のトータルコスト削減に向けた取り組みの一環として、令和6年度に三雲リサイクルセンターの一部施設を除却し、令和7年度には、松阪市リサイクルセンター敷地内の老朽施設の一部を除却する方針を立てました。</p> <p>新最終処分場施設整備に係る整備計画用地の取得については、98.46%（119,980.61㎡）を購入させていただきましたが、令和5年度末までに、全ての整備計画用地の取得には至りませんでした。</p>
健康福祉部	2. いつまでもいきいきと健康づくりの推進 ①健康	保険健康担当理事	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ナッジ理論」を活用し、特定健康診査やがん検診の未受診者に対し、受診勧奨の通知を行いました。</li> <li>特定健康診査については、受診率向上を図るため2ヶ月間延長し、前年度より受診率を上げることができました。がん検診については、受診率は、横ばいで向上に至りませんでした。</li> <li>・第3次松阪市健康づくり計画策定において、「健康づくりワークショップ」を実施し、市民と意見交換を行いました。関係団体、関係各課、住民自治協議会から健康づくりの取組を聞き取り、計画に反映し、策定することができました。</li> <li>・スポーツ課と連携し、健康づくり動画の作成、配信を行いました。みえ松阪マラソン「健康ウォーク」では、ウォーキングサポーターと協働し、ウォーキングの普及に取り組みました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
健康福祉部	2. いつまでもいきいきと ②地域医療の推進	保険健康担当理事	☆☆☆☆	<p>松阪地区の二次救急病院と、地域の医院・診療所の機能分担の推進と、地域の救急医療を守るため、「一次二次救急医療体制のあり方」について、関係機関と協議を行い、関係機関の合意を得、方向性を示しました。</p>
健康福祉部	2. いつまでもいきいきと ④高齢者福祉の推進	保険健康担当理事	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画については、高齢者保健福祉計画等策定委員会を開催し、計画期間に必要な介護サービスの量、それをまかなうための保険料、国の指針に基づく介護人材の確保策等を協議し、令和6年3月に策定しました。</li> <li>・松阪市地域包括ケア推進会議・市主催の「在宅医療市民講演会」（210人参加）を開催し、多職種連携の周知と松阪市版エンディングノート「もめんノート」の啓発を行いました。</li> <li>・認知症支援の「認知症高齢者等個人賠償責任保険」「おかえりSOSネットワークまつさか」に加え「チームオレンジ」を新たに立ち上げ（1か所）、在宅の認知症の人やその家族の支援に努めました。</li> </ul>
健康福祉部	2. いつまでもいきいきと ③地域福祉・生活支援の充実	健康福祉部長	☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉まるごと相談室を令和5年度は3地区に設置し、6地区において包括的な支援体制を構築しました。</li> <li>・ひきこもり支援において、相談しやすい体制、居場所づくりや家庭教室など、ひきこもり当事者やその家族に対し必要な支援を進めるとともに、よりよいサポーター養成講座を開催し、サポーターとともに地域での支援体制を考える体制を整えました。</li> <li>・住居等における不良な生活環境の解消に関する条例が施行となり、いわゆるごみ屋敷の対象者に対して、福祉的なチーム支援を行いました。</li> </ul>
健康福祉部	2. いつまでもいきいきと ⑤障がい福祉の推進	健康福祉部長	☆☆☆	<p>介護給付費等給付事業や障害児通所支援給付事業の利用が増加するなか、相談支援事業所等との連携を図り適切な支給決定することで障がい児・者とその家族の意向に沿った障害福祉サービス等の提供ができました。</p>
健康福祉部	1. 輝く子どもたち ①子ども・子育て支援の推進	こども局長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待相談件数は176件と前年度に比べて29件減少しました。死亡等の重篤な案件の発生もありませんでした。</li> <li>・健康センターはるる内に「こども家庭センター」を設立し、令和6年4月1日よりスタートできました。</li> <li>・令和6年度からこども家庭センターで新規事業として開始するペアレントプログラムが適切な家族支援につながるよう、職員で年6回研修と協議を行いました。子ども発達総合支援センターでは保護者を対象としたペアレントトレーニングを本格的に開始し、25人の参加があり、子育てに自信を持っていただくとともに保護者間のつながりの場となりました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
健康福祉部	1. 輝く子どもたち ②未就学児への支援	こども局長	☆☆☆☆	<p>「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」及び令和4年度に定めた閉園基準の適用をした「阿坂幼稚園」が2年目も総園児数が15人未満であったことから、住民説明会を開催しました。また、令和5年度の総園児数が11人となった「射和幼稚園」と「つばな保育園」の住民代表者へ向けて、園児数等の現状説明や今後の取組予定などを相談させていただきました。大石地区は、令和5年4月より「みなみ保育園」を認定こども園として改編し、「大石幼稚園」を令和5年度末で閉園しました。</p> <p>新規事業として実施した、認可外保育施設での一時預かりは、申請者398人のうち実利用者数が177人と伸び悩みました。令和6年度においては、利用者にアンケートを実施し、そこで得た意見を今後の取組に反映していきます。また、赤ちゃんの駅認定については、令和5年度の実績数が、公施設が68施設で、民間施設が29施設の合計97施設であり、実施開始前の総定数を上回る登録ができました。様々な子育てに関する支援施策を行ってきたことで、日経 xwoman（クロスウーマン）と日本経済新聞社が実施する「自治体の子育て支援制度に関する調査」にて、当市が全国 20位、東海地区 2 位、三重県内 1 位となりました。</p>
産業文化部	3. 活力ある産業 ④商工業の振興	産業文化部長	☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業支援センターの相談件数が大幅に増となったことは、特にDX担当の配置が効果的に働いたものですが、全体的にセンターの機能強化がなされたものと考えます。</li> <li>創業支援においては女性起業家支援セミナーへの出席者数平均値が目標値15人に対し20.5人となり、起業をめざす女性の交流の場の創出に寄与することができました。また、創業者向けの店舗改装費補助や保証料補給金も目標値以上の利用があり創業者のニーズに対応できたものの、実際創業につながった人数は横ばいにとどまりました。</li> <li>中心市街地商店街においては、みえ松阪マラソンの後夜祭として「カンパイ商店街」を開催し、全国から来られたランナーの皆様のおもてなしをしました。また、駅前駐輪場跡を活用したマルシェや鈴の音市での飲食イベントなどでは公民連携の手法を取り入れ、集客に努めました。結果、「中心市街地営業店舗数」の減幅が抑えられるなど、商店街の活性化に寄与したものと思われます。</li> <li>全体として目標値を上回る事業も多く、想定される事業ができたため、星4の評価としました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
産業文化部	3. 活力ある産業 ⑤企業誘致・連携の推進	産業文化部長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業立地件数」及び「市内事業者に対する連携支援件数」は、いずれも目標値を上回っていますが、それらのバロメーター的指標である「企業等訪問延べ件数」は、令和2、3年度はコロナ禍の影響により200社台に落ち込んでいたものの、令和5年度は463社となり、目標の400社を上回りました。これは東京や大阪での産業経済人交流会の開催を復活できたこと等によるものと考えます。</li> <li>・新たな産業用地整備（ウッドピア松阪北地区）については、実質的な用地取得を完了し、都市計画における地区計画の変更手続きも完了したことから、今後の企業誘致活動の進展に寄与するものと考えます。</li> <li>・仕事と子育ての両立支援に取り組む市内企業への奨励金制度（くるみん認定取得奨励金）を創設し、認定企業の顕彰を行うなど、中小企業の子育て支援の促進につながりました。</li> <li>・ハンズオン支援事業を通じた松阪茶のプロモーションをはじめ、企業と市が一体となった活動を行い、多くの企業との公民連携が進みました。</li> <li>・全体としてほとんどの指標が達成されていますが、ハンズオン応募者数が1桁台だったことから星3つの評価としました。</li> </ul>
産業文化部	3. 活力ある産業 ⑥観光・交流の振興	産業文化部長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設の入込客数、観光消費額についてはコロナ前の基準には達しなかったものの、それぞれ前年度を上回っており、「ポストコロナ観光促進事業」によるプロモーションサイトやSNSでの情報発信、新たな着地型イベントなどによるコンテンツ充実などは、一定の効果があったものと思われます。</li> <li>・宿泊者数においてはコロナ前の基準から11%増となっており、プロモーションとコンテンツがうまくかみ合い、宿泊型の旅行者のニーズに対応できた結果と考えます。</li> <li>・イベント実施においては、民間事業者のアイデアや蓄積データを活用できるような手法を取り入れることができました。</li> <li>・中山間地区の観光レクリエーション施設については、施設個々の事情により利用期間が短くなったこともあり、利用者数が減少しているところもありますが、施設整備やSNSでの情報発信を充実したところについては、利用者の満足度が向上しておりリピーター、新規顧客の誘客につながっています。</li> <li>・全体として宿泊者数目標はコロナ前を超えたものの、消費額目標がコロナ前に戻っていないことから星3つの評価としました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
産業文化部	3. 活力ある産業 ⑧雇用・勤労者福祉の充実	産業文化部長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者雇用率は2.28%となり、わずかに法定雇用率2.30%に到達できませんでしたが、ゼロ雇用事業所は7社減、雇用率上昇（+0.16%）は近年では一番の数値となるなど、障がい者雇用の促進は順調になされていると思われます。これは優良事業所等の表彰制度、バスツアー（優良事業所訪問）の実施や、ゼロ雇用事業所への訪問説明、障がい者雇用優良事業所を訪問し優良事例を研究するなど、長年にわたるハローワークや関係機関、民間事業者との連携事業の成果であると考え、今後も継続して取り組む必要があると考えます。</li> <li>・ 南三重地域若者地元定着推進事業においては、南三重就活ナビに掲載する事業所延べ数は目標以上の241社となり、求職者の動向の目安となるナビ会員求職者数は141名、閲覧数は11,156件と年々増加傾向で、活用が進んでいることが伺えます。</li> <li>・ 全体的に想定していた取組は実施され数値目標も達成していますが、障がい者雇用率が法定雇用率に達しなかったことから星3つの評価としました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
産業文化部	4. 人も地域も頑張る力 ④文化の振興	産業文化部長	☆☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化センターにおいては事業に対する満足度が高い結果となり、また、市民文化会館大規模改修等の施設整備を着実に進め、安全安心な環境づくりが進んでいます。</li> <li>・文化財センター収蔵庫は部分的な運用を開始し、文化財を適切に保存できる状況がより一層整いつつあります。</li> <li>・小津安二郎生誕120年事業、三井高利生誕400年・三井越後屋創業350年事業においては、様々な事業者・関係者との連携も円滑に行え、それぞれ信頼関係を構築することができました。</li> <li>・特に三井家発祥地公開は、制約のあった中で実現可能な範囲での公開となりましたが、三井家同族会、三井グループ関係者との密な連絡調整、それに対する市の着実、的確な実施内容に対し高い信頼を得られ、良好な関係を維持・構築することができました。</li> <li>・市民参加型の事業はニーズが高く、高い満足度が得られるとともに、施設の入館者数、利用率等も前年度の減少傾向から増傾向に転じました。</li> <li>・特に児童生徒の文化財施設への来訪者数は基準値を上回っていることから、各文化関連施設において開催した多様な企画展示や催し物により、文化芸術や文化財、郷土の偉人の功績に触れる機会の充実が図れ、シビックプライドの醸成が進んだものと考えます。</li> <li>・全体としては回復傾向にある市民の芸術文化活動ニーズに着実に対応できたこと、さらに松阪市初の国宝指定答申があったことから評価は星5つとしました。</li> </ul>
産業文化部	5. 安全・安心な生活策と消費者保護の充実 ②防犯対	産業文化部長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消費生活センター相談件数」は令和4年度に引き続き令和5年度も相談件数が増加しており、なかでも相談内容の内訳は通信販売やSNS、インターネット通販のトラブルが多く、再相談になる事案が増加していることから1件当たりの相談の難易度が上昇していることが伺えます。</li> <li>・この状況の中で「消費生活センター解決度」は目標値の99.0%を上回り、相談件数が増加しているにもかかわらず、解決度はより向上している結果から、消費生活相談員がスキルアップしながら、最新の悪質商法等にも対応していると評価します。</li> <li>・全体的に目標を達成しているものの、特殊詐欺件数は減少していないことから☆3つの評価としました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
産業文化部	6. 快適な生活 ③地域公共交通の充実	産業文化部長	☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯高管内の公共交通再編は地域住民、関係者、関係機関と協議や連携を行い、令和6年4月1日運行開始することができました。</li> <li>・路線バス運賃無料デーにおいては、前週比3.1倍の乗車人数と前年度以上の利用があり、バス利用機会の創出により一定の利用促進効果があったものと思われます。</li> <li>・しかしながら「結節点数」「コミュニティ交通導入地域数」「年間利用回数」の数値目標はここ数年いずれも伸び悩んでいることから、これまでの取組を見直す必要があるものと思われます。</li> <li>・想定していた事業は予定どおり実施でき、特に長年の懸案であった飯高管内の公共交通再編が実現できたことから星4つの評価としました。</li> </ul>
産業文化部	3. 活力ある産業 ①農業の振興	農林水産担当理事	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手への農地集積について、農地中間管理機構などを活用した取組と、田植機など農機具の導入に支援することで、集積率は1.8%アップしましたが、目標達成には至りませんでした。</li> <li>・獣害に強い薬用作物（ミシマサイコ）の実証栽培を行い、収穫作業まで終えることができました（作付面積476.3㎡、収穫量7,910㌔）。また、生産者の拡大と作物栽培の普及を図るため、収穫などの成果について報告会を開催し、生産者を広く募集した結果、今後新たに3名の方が参加される予定となりました。</li> <li>・獣害対策について猟友会の協力を得て有害鳥獣の捕獲に努め、農地への防護柵設置支援などを行うとともに、集落単位の対策として、サル的大型捕獲檻の設置（仁柿地区）や、集落全体を囲う集落防護柵の設置により、農作物被害額の減少につながることができました。</li> </ul>
産業文化部	3. 活力ある産業 ②林業の振興	農林水産担当理事	☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により生産制限をしていた製造会社の集材再開により未利用間伐材の需要が増えたことで、木質バイオマス活用量については前年度から増加したものの、目標には達しませんでした。</li> <li>・松阪の木を使用した住宅建築の支援棟数は59棟（目標110棟）で、建築資材等の価格高騰により着工時期を見合わせる事例が多く、目標を達成することはできませんでした。</li> <li>・昨年度に認定登録されたJ-クレジット制度の認証審査を受け、令和4年度までに施業を行った森林（市有林277haと民有林48ha）を対象とした、1,591t-CO2のクレジットが認証されました。</li> </ul>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
産業文化部	3. 活力ある産業 ③水産業の振興	農林水産担当理事	☆☆☆	水産資源増殖への支援として、ガザミ10万4千尾、車エビ17万6千尾の種苗放流を行うとともに、漁場環境の改善に向けた「碎石覆砂」を行うことで、総水揚金額は前年度比で約400万円増、またガザミの漁獲量が前年度比で4t増となり、ともに目標を達成できました。また、獅師漁港施設の長寿命化を図るため、その整備に向けた設計及び測量業務を行いました。
産業文化部	3. 活力ある産業 ⑦松阪牛・地域ブランドの振興	農林水産担当理事	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に寄附者ニーズの高い海産物をはじめ、市内焼肉店で利用できる現地決済型サービスの返礼品を拡充したほか、Web広告や返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修に取り組み、寄附額は前年度比で2億2千5百万円上回りましたが、目標の20億円を達成することはできませんでした。</li> <li>・第72回松阪肉牛共進会を中心とした「松阪牛まつり」を開催し、目標の35,000人を上回る40,000人の来場者がありました。また、松阪牛関連の特設サイト「うまっつあか！松阪牛」について改修と更新を行うとともに、インフルエンサーによる松阪牛の美味しさや魅力などをSNSを活用して情報発信し、松阪牛のPRを行いました。</li> </ul>
産業文化部	7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営	競輪事業担当理事	☆☆☆☆☆	<p>昨年度は、2億5千万円を一般会計に繰り入れ健全な財政運営に資することができました。昨年度の総売上額は約280億円、対前年度比で約63億円の増となりました。また、平成14年度の年間最高総売上約260億円を21年ぶりに更新することができました。</p> <p>全てのSNSを活用して参加選手の紹介やイベント、ファンサービス等の情報を全国のネットユーザーに発信し、若年層並びに新規ユーザーの満足度の向上に努めました。西日本カップの開催や特にミッドナイト競輪では、8開催の平均売上額は12億円（4億円/日）を超え、総売上増加に繋がりました。また、全ての開催に企業協賛を得ることで来場者やネット投票者へのファンサービスが充実できました。視聴者プレゼントの総応募者数は9,332人、前年度から2,822人の増となりました。</p> <p>補助輪外しや自転車教室などのサイクルイベントのほか「夏祭りin松阪けいりん」を開催しました。サイクルイベント参加者数は、延べ371人、夏祭りには約4,000人の参加がありサイクルスポーツの振興や新規顧客の獲得に努めました。</p>
建設部	5. 安全・安心な生活 ①交通安全対策の充実	建設部長	☆☆☆☆	令和5年度は、通学路交通安全プログラムや地域と連携し、歩道整備や歩行空間の確保など通学路や生活道路の安全対策に取り組み、市民満足度の向上に貢献することができました。

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
建設部	5. 安全・安心な生活 ⑤浸水対策の充実	建設部長	☆☆☆	<p>市管理河川の九手川においては、令和6年度の完成に向け計画的に整備を進めることができました。甚太川においては、松阪地区浸水対策検討会における実施計画に基づき、県管理河川と連携しながら整備に着手しました。また、緊急浚渫推進事業債を活用し、要望のあった4河川の浚渫を実施しました。</p> <p>特定都市河川に指定された中村川、赤川については、流域水害対策計画の原案の公表を行い、今後の対策について地域の理解を得ました。しかし、市民満足度については、ほぼ横ばいのまま目標値に届かず、指標については、今後見直しを検討いたします。</p>
建設部	6. 快適な生活 ④都市空間・住環境の整備	建設部長	☆☆	<p>都市空間の整備については、公園の管理について民間活力導入の検討なども進めたが、方向性を出すには至りませんでした。松阪駅西地区複合施設計画については、より具体的な提案をいただけるよう、事業用地の確定測量を行いました。</p> <p>住環境の整備については、不良空家に対する補助金の活用が16件あり、また、民法による管理人制度を活用し、1棟の解体を行いました。既存集落維持のための地区計画については、7月までに全住民自治協議会に対し説明会を行いました。反応は薄いものでした。住環境における市民満足度においては、目標値には届きませんでした。</p>
建設部	6. 快適な生活 ⑤道路等の整備	建設部長	☆☆☆	<p>道路の改良及び狭あい道路の整備については、一部、進捗が目標に達しない路線もありましたが、おおむね計画的な整備を実施することができました。道路照明灯のLED化についても、令和7年度の全灯改修に向け、計画的に実施できました。指標については、市民満足度において、ほぼ横ばいとなり、今後、指標の見直しについても検討をしていきます。</p>
建設部	7. 市民のための市役所 サービスの充実 ①行政サービスの充実	建設部長	☆☆☆	<p>「篠田山斎場大規模改修工事」、「徳和小学校、中川小学校校舎外壁・サッシ改修工事（第2期）」、また、ゼロカーボンに向けた「本庁舎照明LED化工事」などの発注及び、「松阪市立嬉野中学校校舎大規模改造工事（第3期）及び監理業務委託」、本庁舎本館などの4施設における「太陽光発電設備設置工事及び監理業務委託」などの繰越事業を含め、『工事65件 約23億円、委託業務19件 約4,400万円』について、おおむね工期限内に完了することができました。</p>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
消防団事務局	5. 安全・安心な生活 ④消防力の充実	消防団事務局長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は、コロナ禍により制限があった訓練や研修会等が、年間事業計画のとおり実施することができ、消防団員の災害対応能力の向上と士気高揚が図れました。</li> <li>・消防団員の確保については、数値目標には達しませんでした。各種イベントや街頭において、機能別団員（予防広報団員）による積極的な広報活動により、住民への消防団活動への理解や関心を広めることができ、年々減少傾向であった消防団員数が昨年度より微増しました。</li> <li>・昨年度は、消防用機械器具を計画的に更新配備することができ、消防団の活動拠点となる消防団車庫2棟の更新や消防水利についても、良好な状態で使用できるよう適切な維持管理に努め、消防体制の充実強化を図ることができました。</li> <li>・松阪市消防団ドローンチームの発足後、初めて捜索活動において隊員が実戦投入され、短時間で広範囲を捜索できるようになり、捜索活動の効率的な活動が図れました。</li> <li>・住民自治協議会に参画する消防団員（分団長以上）7人が新たに防災士の資格を取得し、地域の防災リーダーとして活動ができるよう環境整備を図り、住民の防災意識への向上に繋がりました。</li> </ul>
会計管理課	7. 市民のための市役所 ②確かな行政サービスの提供	会計管理者	☆☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支払通知書の廃止に向けて取組を進め、令和6年1月にWeb明細システムの運用を開始しました。これにより会計事務の効率化と事業者の利便性の向上を図りました。</li> <li>・公共料金の口座引落としについて、関係課や金融機関と調整を行い令和6年6月の導入開始に向けて準備を進めました。</li> <li>・会計事務の業務量削減と効率化の取組を大きく進めたものの、人員を削減できるほどの効率化はできませんでした。</li> <li>・会計事務に関する職員の意識の醸成については、グループウェアによる会計事務情報を提供(5回)したほか、事務に必要な情報を随時周知し会計事務の円滑化と職員の意識及び知識の向上に努めました。</li> <li>・三重県が地球温暖化対策として事業実施するために発行した三重県債（みえグリーンボンド）を購入し、安全で堅実な資金運用を行いました。</li> </ul>
市民病院事務部	2. いつまでもいきいきと ②地域医療の推進	市民病院事務部長	☆☆☆☆	<p>市民病院の在り方検証委員会は4回開催の後、令和5年9月29日に答申をいただき、40回に及ぶ各地域や市民への説明会などでの周知啓発を経て、指定管理者制度の活用に向けた条例改正の議決をいただくとともに公立病院経営強化プランを策定しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症では、5類移行後も6回目と7回目のワクチン接種、そして陽性患者への積極的治療などに当たりました。また不適切な事務等の不祥事については、再発防止に向けた対策を検討し、事務改善を図りました。</p>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
上下水道部	5. 安全・安心な生活 ⑤浸水対策の充実	上下水道事業管理者	☆☆☆	愛宕川流域の浸水対策については、松阪地区浸水対策検討会における実施計画に基づき整備を進めてきており、令和5年度の雨水管渠の完成により実施計画に基づく対策は全て完了しました。これにより、流域住民に対し浸水被害の軽減が期待できる。
上下水道部	6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全	上下水道事業管理者	☆☆☆	「飯南かわら版」や「飯高とっときたより」などを通して生活排水に関する啓発を行いました。また、1年を通して施設の点検、清掃など維持管理に努め、令和5年度は26基の公共浄化槽を新規整備し、公共用水域の水質保全の向上を図りました。 農業集落排水処理施設使用料、公共浄化槽使用料の請求方法については、予定どおり10月から水道料金と合算する2か月に1回の請求方法に移行できました、これにより、コンビニ納付、クレジット納付もできるようになり、利用者への利便性の向上を図りました。
上下水道部	6. 快適な生活 ⑥上下水道の整備	上下水道事業管理者	☆☆☆	水道事業については、経常収支比率（103.8%）、営業収支比率（98.2%）で営業損失が生じたが経常収支比率は100%以上を保てました。主な要因は給水人口の減に伴う給水収益の減であり、今後、詳細な検証を実施し対策を進めていく必要があります。 また、基幹管路の耐震化については令和4年度末の耐震適合率38.5%を令和5年度末では1.2ポイント増の39.7%、900mの整備目標であった老朽管の更新については957mの整備し、目標値以上に進められました。 下水道の整備においては、令和5年度末の公共下水道普及率は前年度比2.0ポイント増の63.1%となり、松阪市公共下水道事業経営戦略の見直しを行う中で、整備区域の検討、公共下水道使用料の改定の必要性に関する検証を行いました。
教育委員会事務局	1. 輝く子どもたち ①子ども・子育て支援の推進	教育長・教育委員会事務局長	☆☆☆	夏休みなど長期休業中に限った保育希望が多数あることから、長期休業中の子どもの居場所づくり事業に着手し、山室山小学校にてモデル的に実施し、13名の児童が利用し、満足度は96.9%でした。また、令和6年度では、長期休業中子どもの居場所づくり事業を全市的に水平展開ができるよう保育場所の確保や委託事業者（シルバー人材センター）との調整を行う事ができました。

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
教育委員会事務局	1. 輝く子どもたち ③学校教育の充実	教育長・教育委員会事務局長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「松阪市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」に基づき、第1期の対象校としている学校（複式学級が発生している小学校）とその関連校である10校において学校活性化の協議を開始し、学校活性化の方策、その手順、実施時期等について、一定の方向性が固まりつつあります。</li> <li>・就学援助や健康診断等の事業を適切に実施し、経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者への支援、児童生徒及び教職員の心身の健康の保持増進に努めることができました。</li> <li>・子どもたちの資質・能力を育成する授業改善の取組等を進めたことにより、全国学力学習状況調査の平均正答率において、小学校が国語・算数ともに8年連続で、中学校が国語・数学2教科平均及び英語を加えた3教科平均で全国平均を上回るなど、学力向上や挑戦心・達成感・自己有用感等の向上に成果が見られました。</li> </ul>
教育委員会事務局	4. 人も地域も頑張る力 ③社会教育の推進	教育長・教育委員会事務局長	☆☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアルオープンした松阪公民館においては、調理室の新設や音響設備の強化、大型ディスプレイの設置やZoom配信機器の整備を行い、機能強化を図ることができました。また、オープニングイベントを含む各種講座・講演への参加者数が前年度比119%、有料貸出件数が前年度比162%と増加する等、新しい公民館の周知を図ることができました。</li> <li>・各公民館の館長、主事に向け、Zoom配信を併用した研修を2回行い、延べ103人が参加し、コミュニティセンター移行に向けての理解を深めました。</li> </ul>
教育委員会事務局	4. 人も地域も頑張る力 ⑤スポーツと連動したまちづくりの推進	教育長・教育委員会事務局長	☆☆☆☆	<p>みえ松阪マラソンについては、第2回大会を12月17日に開催し、8,850人の参加者があり、関係者や沿道応援者を含め約13万人の方に参加いただき、約10億1,300万円の経済波及効果がありました。「伝えたい！スポーツのチカラプロジェクト」を立ち上げ、小中学校をはじめ、地域、団体等に対し計37回4,200人の方々に対し出前授業、出前講座を行うとともに、SNSを通じてさまざまな情報発信を行いました。これらの取組が評価され、11月にスポーツ庁より「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を受賞しました。</p>
議会事務局	その他	議会事務局長	☆☆☆☆	<p>議会活動事業において、本会議でのタブレット端末を活用したデータ資料によるモニター表示について、一般質問時に加え代表質問時においても同様の取り組みを始め、資料の見やすさとともに、よりペーパーレス化を進めることができました。</p> <p>議会広報事業において、常任委員会等のYouTubeライブ配信を行うことにより、市民に向けた議会活動の積極的な情報発信の充実に努めることができました。</p>

令和5年度評価（☆）一覧

部局	施策	評価者	☆評価	評価内容
農業委員会事務局	3. 活力ある産業 ①農業の振興	農業委員会事務局 長	☆☆☆	国からのタブレット端末が9月に納入され、納入後2回のタブレット端末操作研修を農地利用最適化推進委員に行いました。現在、タブレット端末を利用状況調査・現地立ち会い等に活用しています。 タブレット端末の使い方研修の開催は予定どおり開催できましたが、農地利用最適化推進委員の中でタブレット端末の活用にかなりの開きがあるため、積極的な活用を行ってもらえるように今後も研修等を行っていきます。
監査委員事務局	その他	監査委員事務局 長	☆☆☆	研修会等への参加については、12回受講することができ、知識の習得と向上に努めました。
選挙管理委員会事務局	その他	選挙管理委員会事務局 長	☆☆☆	令和5年9月3日執行の松阪市長選挙において、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、適正かつ効率的に実施しました。 また、学校の協力を得て、第三小学校、第四小学校、伊勢寺小学校、港小学校、西黒部小学校、射和小学校、山室山小学校、豊地小学校、三雲中学校、松阪商業高等学校、飯南高等学校において出前授業による模擬選挙を行い、三雲中学校においては、生徒会長選挙を実施し、将来の有権者に向けた啓発に努めました。